



地域おこし協力隊とは？

地域の未来を応援するため都市部から移住して地域活性化に取り組む国の制度。任期は最長3年。町ではこれまで25人が隊員となり、2025年度は4人が活動中。退任後、町内で起業や就業し、定住している人もいます。

地域おこし協力隊と考える このまちの未来

一番好きと言えるまち

一洞爺湖町に興味を持ったきっかけはなんですか？

亀田（智）さん 自然豊かな移住先を探していて、家族で条件を絞っていくと、洞爺湖町が一番条件に合っていました。

亀田（昇）さん 洞爺湖町を選ぶ時に特に重要だったのが、道内で比較的雪が少ない上、自然と利便性のバランスが良いことです。私はスノーボードが趣味でスキー場が近いのも魅力のひとつでした。



白澤さん 札幌に住んでいて、かねてより海がある町へ移住したいと思っていました。実家が室蘭市にあるので洞爺湖はよく訪れる場所。ツアーコンダクターの経験もあるのですが、お客様から好きな所を聞かれた際も一番

に「洞爺湖です」と答えていました。

成田さん キャンプで全道を回った時、洞爺湖町のロケーションや景観が一番と言って良いほど素晴らしかったです。以前は札幌に住んでいて雪の不便がありましたが、洞爺湖町は雪が少なく、考えていた条件と一致しました。

折原さん 15年ほど前に妻とドライブで訪れたのがきっかけです。妻に理由を聞くと、町内のあるパン屋に行きたいとのこと。実際に店を訪れ、洞爺湖を舞台にした映画を見たりして、こんな地域があったんだと初めて知りました。移住した人たちとも関わり、田舎に住むのも悪くないと考え始めました。

人との距離 近く感じる

一町で暮らして特に印象的なことは？以前住んでいた地域との違いをどのように感じていますか？

成田さん 町になじめるか不安でしたが、仕事で農家さんなどいろんな人と出会うと、皆さんが受け入れてくれますし、人との距離感が近いと感じます。近所の家族が子どもと一緒に遊んでくれたり、物々交換のようなコミュニケーションや交流が多いのは



折原 英明さん（司会）

2021年～24年、協力隊員で活動。現在は町内で飲食店を経営。



成田 譲さん

2023年からとうや水の駅で活動中。町内での起業に向けて奮闘中。



白澤 祐子さん

2024年からジオパーク推進室を経て健康福祉課で活動中。



亀田 昇吾さん・智子さん

町では初めて家族で地域おこし協力隊に加入。昇吾さんは町商工会、智子さんは社会教育課で活動しながら空き家対策に力を入れている。



前と変わったなと思います。

白澤さん 町営住宅に引っ越したのですが、ご近所さんやスーパーの店員さんが親切にしてくれるので、引っ越してきたその日にもう生活になじめた感じがするくらい、温かさを感じたことが第一印象でした。移住前は都会音が止まず、朝まで起こされずに寝たことがないほどでしたが、洞爺湖町に来ると睡眠の質が上がりました。

亀田（昇）さん 1年過ごしてみて、何よりもストレスが少なくなったと感じました。人が優しく、自然を感じながらゆったり生活できています。関東から移住してきたので、暑くなくて過ごしやすいので身体的なストレスもかなり減りました。

関東との大きな違いは降雪量および積雪量ですが、何事にも余裕があると感じます。移住前に暮らしていた環境は、例えば、人が密集し建物が建て詰まっていることによる空間的な余裕の無さ、時間的制約による精神的な余裕の無さなどがありました。

亀田（智）さん 皆さんもおっしゃっているように、人が優しくておおらかだと思います。また、関東に住んでいたころよりも四季をはっきりと感じます。アクティビティや食べ物など四季折々の楽しみがあって、どの季節も楽しいと感じることができません。

折原さん 僕は「地域で子育てしている感」をととても感じます。洞爺湖町では近所の父母が顔見知り、小学校でもひとつの大家族のような雰囲気があります。あとは、洞爺湖町は場所が良いと思っています。田舎暮らしと言われると生活しづらいイメージがあ

りますが、町内には大きい病院があるし、もし何かあっても室蘭や札幌まですぐ行けるなど生活しやすい地域ではないかと思っています。

自然の恵みを 食して

一 洞爺湖町に住んでから好きになったことはありますか？

白澤さん 道の駅で私が知らなかった食材がたくさん売っていて、どう料理したらよいかも店員さんが親切に教えてくれるので、自分で手を加える料理をするようになりました。とても大きなごぼうが売っていて驚いたので、きんぴらごぼうをたくさん作りました。私の腕でもとてもおいしくできました(笑)

亀田（智）さん 自然の恵みに触れる機会が増えました。登山や、栗やきのこ、山菜採りなどの楽しみ方を地元の方に教えていただきました。移住前の生活環境ではできなかったことです。

成田さん スノーシューを買って冬の洞爺湖を財田の方へ歩いているととても静かできれいです。また、料理も始めました。売店で働いているとお客さんから食材の料理法などを聞かれたり、教えてもらったりのので、いろんな料理にチャレンジしています。



自然と利便性のバランス

— 洞爺湖町の魅力・ポテンシャルをどこに感じていますか？

亀田（昇）さん 一番のポテンシャルは、自然が豊かでありながら生活が便利なところではないでしょうか。ただ、いろんな物が揃っている一方、「特にこれを押し出していく」ということが難しく、なかなか魅力が伝わりづらいのかなと思います。

折原さん 良い物があるけど、それをどう伝えていくかですね。地域おこし協力隊は情報発信について求められるので、そこは課題になりそうですね。

白澤さん 移住前は観光地としておすすめだと他の人に伝えていたのですが、住んでも良い町だと言えるようになりました。水産物や農産物、それを支える人の心も大切な資源です。全部ひっくるめて洞爺湖町は良い町だと伝えられるようになりました。

折原さん 先ほどツアーコンダクターのお話がありましたが、洞爺湖町のポテンシャルってどのように感じていましたか？

白澤さん 1週間に3回、ツアーのコースに入るほど頻繁に来ていたのですが、昭和新山に行ってサイロ展望台で買い物して帰っちゃうんですよ。せめて1泊して、滞在時間を長くして楽しんでもらいたいなと今でも思います。

亀田（智）さん 札幌や室蘭、伊達などの都市へのアクセス性が良く、生活に困らないというのはす



ごいポテンシャルだと思います。ですが、生活がしやすいということは意外と気づかれない魅力なのかもしれません。住む上ではかなり重要なポイントなので、日々の生活で困ることがなく住みやすいということはアピールポイントだと思います。

成田さん 近隣に比べると開発され過ぎていないと思います。昔の雰囲気残りつつも豊かな暮らしがあって、まだまだ発展できる可能性を感じられる場所であると思います。



折原さん 洞爺湖町というひとつのくくりではあるけど、虻田、洞爺湖温泉、洞爺でそれぞれの特性があり、非常に魅力的な町なんじゃないかと感じますよね。

点在する魅力を結ぶもの

— 洞爺湖町の魅力・ポテンシャルをのばすには何が必要だと思いますか？

成田さん 移住者向けの家はないかとよく聞かれます。住む所の情報発信があまりないのでもう少し増えたらいいなと思います。

亀田（智）さん まずは皆さんがポテンシャルに気づくことだと思います。例えば、空き家も資源のひとつであり、どのように活用していくかを考えられると良いのかなと思います。

折原さん 地域おこし協力隊として初めて来たときに、役場の担当者から情報発信してほしいと言われました。湖や火山、野菜などの美点も長く住んでいると当たり前になってしまうようです。

亀田（昇）さん 地元の方々にも魅力を再発見してもらい、伝統を守りつつ、新しいところをもっと伸ばしていけると良いのかなと思います。移住してくるとき一番ネックだったのは住む場所と仕事です。移住者の希望する住居、仕事のマッチングができていないところがあるので、うまく移住者に見える化してつなげることが必要ではないでしょうか。

白澤さん 私は、点在している魅力を結ぶものが必要だと思います。やはり足がないと行動範囲が狭くなってしまい、住民もどこかでイベントをやっている

でも行けないことがほとんどだと思います。既存のコミュニティバスやコネクタクシーを有効に利用できると魅力アップにつながると思います。

まちのため 一緒にできること

—10年後を見据えた時、地域づくりへの今後の関わり方をどう考えていますか？

亀田（昇）さん 家族で空き家対策に取り組んでいますが、空き家所有者の多くは空き家をどう処分または利活用していけば良いのかわからないのが現状だと感じてます。今まで建築・土木関係の仕事をしてきた経験を活かし、抽象的な悩みに



具体的な方法を提案して支援できたらと思います。まちづくりは、一人でどうこうできず、地域に長く住んできた方々と移住者などが一体となって形作られていくものと思ってます。現在、役場が町史の編さんを行っていますが、町ができた歴史や今の風景になった経緯などを住民の方々に理解してもらうことが重要だと思います。

亀田（智）さん 人が暮らしていくためには家や仕事が必要です。私も建築関係の仕事をしてきた経験を活かしながら、現在は空き家対策に取り組んでおり、今後も住まいづくりやまちづくりへの貢献を長

く続けたいです。今、町にある資源が素晴らしいので、町が変わっていくことを目指すというより、少子高齢化や人口減少などの問題がある中でも、今ある資源を活かしながらこの町の良さをずっと維持していけるのが良いのではと思います。

白澤さん 私は、健康で長生きする方法を同世代と考えるようになりました。私自身が洞爺湖町に来て睡眠の質が向上したり、ストレスも激減したので、元気に長生きするためのお手伝いができたらと思います。

私たちは地域おこし協力隊という肩書をいただいているのでどこにでも行けますが、用事がなくても気軽に行ける場所があって、そこで世間話程度で悩みを聞き、専門家につなげるような役目を担い、洞爺湖町で暮らしたら元気になるよと皆さんに伝えていけたらと思っています。

成田さん このまま住み続けたいですが、住み続けるとだんだん外からの目線が薄れてしまうかもしれません。町の良さを深掘りしつついろんな地域の成功例を見たり、意見交換をして、イベント企画や情報発信の力になれば良いと思います。

折原さん 人口減少や高齢化、財政など問題はありますが、人口1万人を目指したら良いと思っています。1万人目指すとなれば、おのずと施策・政策がそれに向いてくるはずです。僕たちは民間として下支えしながらできることも一生懸命やりたいと思っています。地域おこし協力隊での活動は3年で終わりますが、3年で町や僕たちの関係が切れるわけではないので、終わっても同じ地域に住みながら、一緒にいろんなことができたらいいですね。

